

皆さんは、動物園に遊びに来た時に「なぜ?」「どうして?」と思ったことはありませんか?

「教えて!飼育員さん!」は、来園者の皆さんからの疑問に飼育員がお答えする企画です。

それでは早速、質問にお答えしましょう。

今回の質問はこちら。

ペンネーム: さとうあかね さん からの質問

へびでどんなからだのへびがいるの

ご質問、ありがとうございます。

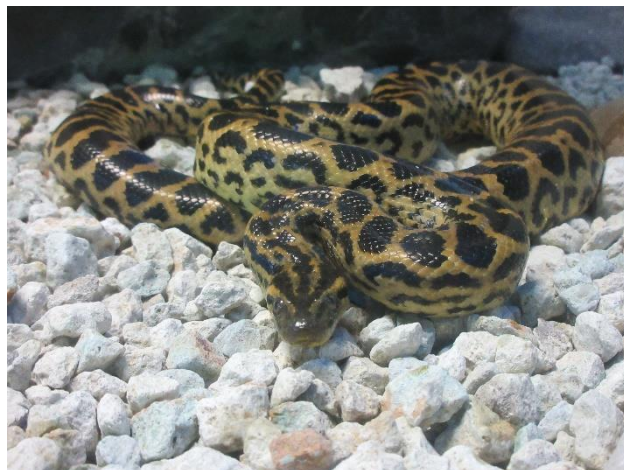
苦手意識のある方も多いへび。確かに、私たち人間とは違った、とても不思議な体をしていますよね。今日はそんなへびについて、解説していきたいと思います。へびが苦手な方もこれを読めばへびのイメージが変わるかもしれません。

へびは、約1億3000万年前に、水中生活へ進出したトカゲの仲間、泳ぐときに水の抵抗で邪魔になる手足をなくすという進化をした生き物です。

体の色や長さなどは何を獲物としているかや、どこに暮らしているかなどによって様々で、中には毒を持つ種類もあります。

例えば、木の上で暮らし、鳥や小動物を獲物とするへびの場合、木の上でも見つかりにくい緑色の体、そして他のへびよりも長く鋭い歯を持っています。

また、地表で暮らすへびの中でも、ボア科のへびは、物陰に隠れた小型哺乳類などを見つけられるよう、温度を感知することができる「ピット器官」が口先にあります。



また、日本でよく見かけるアオダイショウは、子どもの時には、毒蛇のような模様で身を守り、大人になるときれいなダークグリーンに変わるなど、成長過程で色が変わるへびもいます。



手足なしでも木に登れる身体能力の高さや、温度を感知できるセンサーを身につけたへびの仲間。爬虫類館にはたくさんのへびがいますので、ぜひじっくり観察してみてください。